

# 令和2年度箕面市決算の概要

## ◆ 普通会計決算額

箕面船場阪大前駅前の公共施設整備費がピークを迎えたことや特別定額給付金の支給など新型コロナウイルス対策事業の実施により、歳入歳出ともに大幅に増加しました。

<b>歳入総額</b>	967億61百万円	<+	270億43百万円、	+ 38.8 % >
<b>歳出総額</b>	884億31百万円	<+	247億78百万円、	+ 38.9 % >
<b>実質収支</b>	23億68百万円	<+	2億47百万円、	+ 11.6 % >

## ◆ 主な歳入の状況

①市税収入	242億06百万円	<+	1億44百万円、	+ 0.6 % >
個人市民税	+ 14百万円		固定資産税	+ 2億92百万円
都市計画税	+ 21百万円		開発事業等緑化負担税	+ 22百万円
法人市民税	▲ 1億58百万円			
②各種交付金	31億19百万円	<+	5億94百万円、	+ 23.5 % >
地方消費税交付金	+ 5億20百万円		株式等譲渡所得割交付金	+ 76百万円
③普通交付税	12億09百万円	<+	2億82百万円、	+ 30.4 % >
④国庫支出金	321億68百万円	<+	141億28百万円、	+ 78.3 % >
特別定額給付金交付事業費補助金			+ 138億82百万円	
地方創生臨時交付金			+ 14億68百万円	
社会資本整備総合交付金			▲ 59億81百万円	
⑤地方債	112億00百万円	<+	48億04百万円、	+ 75.1 % >
北大阪急行線延伸整備／新駅周辺まちづくり			+ 48億32百万円	
臨時財政対策債			+ 2億04百万円	
公共用地先行取得			▲ 6億24百万円	
⑥繰入金	75億12百万円	<+	38億96百万円、	+ 107.7 % >
北大阪急行南北線延伸整備基金繰入金			+ 25億63百万円	
文化施設整備基金繰入金			+ 10億50百万円	
財政調整基金繰入金			+ 5億31百万円	

## ◆ 主な歳出の状況

①義務的経費	276億50百万円	<+	16億80百万円、	+ 6.5 % >
人件費 (会計年度任用職員、退職手当など)			+ 7億16百万円	
扶助費 (教育・保育等給付費、障害者支援費の増など)			+ 5億51百万円	
公債費 (元金償還額の増)			+ 4億13百万円	
②投資的経費	240億07百万円	<+	37億84百万円、	+ 18.7 % >
北大阪急行線延伸整備／新駅周辺まちづくり			+ 45億50百万円	
総合水泳・水遊場用地取得			▲ 6億24百万円	
彩都の丘学園増築等			▲ 6億92百万円	
③その他	367億74百万円	<+	193億13百万円、	+ 110.6 % >
積立金 + 22億04百万円			臨時職員賃金	▲ 4億83百万円